

国連 SDG メディア・コンパクト キャンペーン
「1.5℃の約束—いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」

NHK 民放6局連動キャンペーンについて

今年の夏も日本や世界各地を、猛暑や干ばつ、山火事、洪水など異常気象が襲いました。また、ロシアのウクライナ侵攻で、深刻なエネルギー危機も浮き彫りになるなか、脱炭素社会の実現には、課題が突きつけられています。

NHK と民放キー局(日本テレビ、テレビ朝日、TBS、テレビ東京、フジテレビ)は、6局連動で、国連と「SDG メディア・コンパクト」加盟メディアによる共同キャンペーンの一環として、さまざまな情報発信を通じて気候変動対策のアクションを呼び掛けていきます。

◆NHK 民放6局連動で制作した動画を、9月19日(祝・月)より公開。

こちらは、気候変動アクションの啓蒙に無料でお使いいただけます。



・気候変動への疑問を解消、個人でできる10の行動、TV局の取組などを紹介する「フルバージョン」

<https://youtu.be/o6RvkWhHgVA> (10分版)

・メディアが率先して取り組む覚悟を表明する「ステートメント版」

<https://youtu.be/1a7pguQjra4> (2分半版)

◆動画コンテンツを国連総会の関連イベントにオンライン出展

今回、上記にNHKと民放のキャスターたちのトークを加えた動画(英語版)を、ニューヨークの国連総会のハイレベルウィークに開かれるSDGメディアゾーンに、日本代表としてオンライン出展。

この動画は、9月23日(金)から、国連のHPで配信される予定です。

◆キャンペーン共通ロゴを使って、さまざまな番組や企画を展開

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束 

国連 SDG メディア・コンパクトと今回のキャンペーン https://www.unic.or.jp/news_press/info/44283/

国連 SDG メディア・コンパクトは、去年の COP26 で産業革命前からの気温上昇を 1.5℃ に抑えることが世界目標になったことを受け、気候危機の被害を最小限に食い止めるため、脱炭素社会に向けたアクションを促すメディアのグローバルな枠組みです。NHK も含む日本のメディア 100 社以上がこの枠組みに参加し、国連広報センターとともに、日本におけるキャンペーン「1.5℃の約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」を 6 月から展開しています。ニューヨークで国連総会が始まる 9 月 19 日から、エジプトで開催される COP27 最終日の 11 月 18 日までを、キャンペーンの強化期間と位置づけています。

◆NHK 民放6局連動 環境スペシャル番組 『1.5℃の約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために』の放送

G

放送予定:9月25日(日) 総合テレビ 前10:05~11:00



NHK のスタジオに、民放キー局のキャスター、科学者、若者代表が集い、気候変動について一緒に考え、アクションにつなげるスペシャル番組を放送します。

各局は、世界各地の異常気象の現状を伝えるレポートや、再生可能エネルギーの導入最前線、脱炭素ビジネスなどをテーマに、6人のキャスターが脱炭素社会に向けた行動変容の必要性をわかりやすく伝えます。また、各局のマスコットキャラクターが投げかける温暖化の疑問に科学者が答えるコーナーや、個人でできる10の行動を紹介するコーナーもあります。さらに、テレビメディアが率先して気候変動に取り組む姿もお伝えします。

温室効果ガスを削減し、気候危機を食い止めるために、今、私たちに何ができるのか、ぜひご家族で揃ってご覧ください。

【司会】 高瀬耕造 アナウンサー (NHK)

【出演】 鈴江奈々 アナウンサー (日本テレビ) 山口豊 アナウンサー (テレビ朝日)

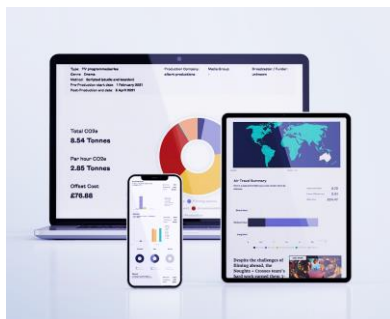
国山ハセン アナウンサー (TBS) 松丸友紀 アナウンサー (テレビ東京)

西山喜久恵 アナウンサー (フジテレビ)

江守正多 (東京大学/国立環境研究所) 原有穂 (高校3年生 Fridays For Future)

今回のスペシャル番組における NHK の環境への取り組み

NHK では、今回のスペシャル番組の美術セットに、リユース・リサイクル素材を取り入れるほか、番組後も活用できるものを選定し、環境負荷の低減に努めます。さらに、番組制作に関連して排出される CO2 の量を算定するオンラインツール(アルバート)を実験的導入します。



アルバートは、イギリスの公共放送 BBC が開発し、現在は BAFTA(英国映画テレビ芸術アカデミー)が管理する、コンテンツ制作における CO2 排出量が見える化し、持続可能な制作を促進する業界コンソーシアムのことです。世界2000を超える放送局や制作プロダクション、大手配信業社などが活用しています。

NHK では、これまで SDGs ミニドラマなどで、アルバートの試験的な運用を試み、番組制作に伴う CO2 排出量の見える化と低環境負荷を進めていく際の参考にしてきました。今回のスペシャル番組で、NHK のスタジオ収録番組として初めて試験運用を行い、制作プロセスの中で、CO2 がいつ、どこで、どれくらい排出されるのか詳細なデータを収集し、今後の課題を探ります。